

第2回
西土佐地域自動運転モビリティ実証実験
企画会議

令和4年7月14日

(1)第1回企画会議の結果と本日の協議事項

1. 第1回企画会議の結果と本日の協議事項

○背景・課題

- ・人口減少や少子化、モータリゼーションの進展、労働力不足、新型コロナウイルスの影響など、地方の交通事業者は非常に厳しい状況にあり、地域の公共交通の維持・確保が困難になってきている。
- ・一方、運転免許返納をする高齢者や訪日外国人旅行者の増加など、公共交通の重要性は高まっている。

○目指す将来像

自動運転サービスの実用化と共に、MaaSの考えのもと既存のモビリティとシームレスに繋がることにより、サステナブルな公共交通を提供し、地域の活力を維持していく。

また、これらの取組みを踏まえ、自動運転を活用した予土線のあり方についても検討を行う。

- ⇒**地域外からの旅行者の移動の足を確保、新たな観光需要の創出**
- ⇒**鉄道利用者等の行動範囲拡大による地域経済の活性化、予土線の収支改善**



○実装を目指す主な事業内容

西土佐地域の基幹的公共交通であるJR予土線の江川崎駅と道の駅「よって西土佐」などの地域拠点施設を自動運転でシームレスに繋ぐことにより、地域住民や観光客などのファーストワンマイル・ラストワンマイルを確保する利便性の高い地方に合ったサステナブルな公共交通を構築する。

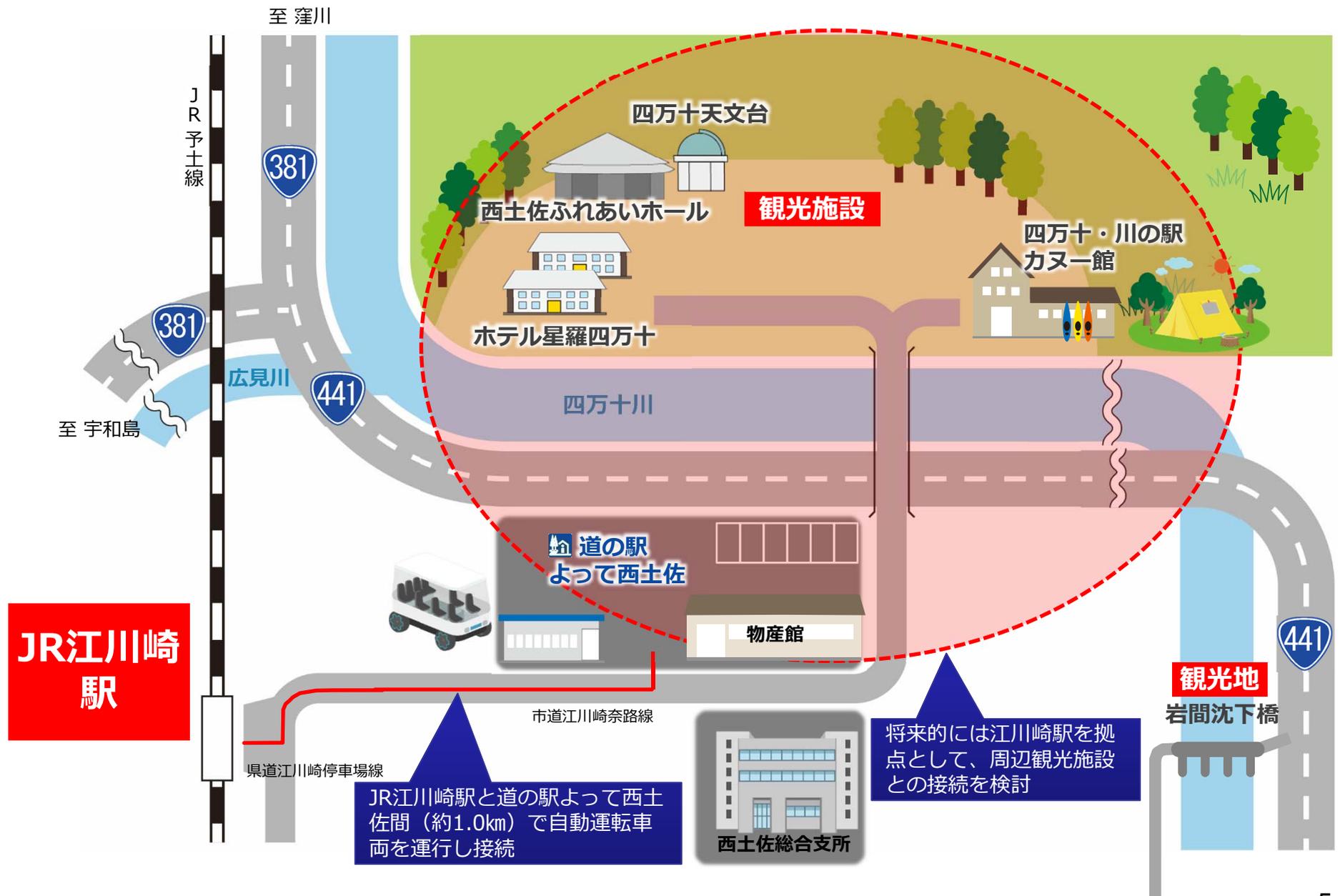
併せて、交通連結点となる江川崎駅で観光機能を向上する等、人が集う賑わいのある駅を目指す。

○第1回企画会議の協議結果と本日の協議事項

- ・令和4年2月15日に第1回西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議を実施した。
- ・企画会議において、自動運転車両を用いて、JR江川崎駅と道の駅「よって西土佐」間を結ぶ実証実験を実施することについて、了承いただいた。
- ・本日は、実証実験の実施に向けて、**運行ルート、実験期間、実験車両の運行スケジュール、検証内容等についてご協議**いただきたい。

(2) 運行ルートについて

2. 運行ルートについて



2. 運行ルートについて

運行ルート

- 「江川崎駅」～「道の駅よって西土佐」間を自動運転区間として設定(第1回企画会議での決定事項)
- また、前回会議で意見のあった「周辺観光施設との接続」を踏まえ、「道の駅よって西土佐」～「ホテル星羅四万十」間を手動運転区間として設定

停留所

- 本実証実験で設ける停留所は「JR江川崎駅」、「道の駅よって西土佐」、「ホテル星羅四万十」の3箇所とする
※「四万十市西土佐商工会」、「四万十・川の駅カヌー館」は、要望があれば停車可能なフリー乗降区間とする
- JR江川崎駅は駅入口での乗降とするが、適宜、自動運転乗客以外の江川崎駅利用者の邪魔にならないように、待ち時間は近傍の駐車可能スペースで待機
- ホテル星羅四万十も、ホテル入口での乗降とするが、適宜ホテル利用者の邪魔にならないように待ち時間は近傍(例:ふれあいホール等)の駐車可能スペースで待機



2. 運行ルートについて

停留所位置

①JR江川崎駅

- ・駅出入口付近での停車、乗降を予定



②道の駅よって西土佐

- ・道の駅裏の駐車可能スペースでの停車、乗降を予定



2. 運行ルートについて

停留所位置

③ホテル星羅四万十

- ・ホテル出入口での停車、乗降を予定



(参考)西土佐総合支所

- ・道の駅の乗降以外の時間帯の待機場所として活用

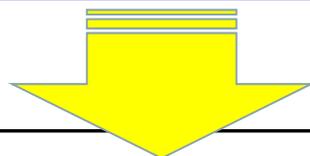


【地図出典: 地理院地図】

(3)実証実験実施時期について

3. 実証実験実施時期について

- ・多くの方に体験いただくために、観光シーズンである小中学生の夏休み期間中
- ・JR予土線のしまんトロッコなどのラッピング車両の利用客が多い時期
- ・JR四国の多客期や道の駅によって西土佐の繁忙期を考慮



令和4年8月21日(日)～令和4年8月28日(日)の8日間で実施

※令和4年8月20日(土)午後は団体臨時列車のツアー客を対象とした試乗会を開催



■道の駅によって西土佐の混雑状況



■観光シーズン中に利用客の多いしまんトロッコ

(4) 実行スケジュールについて

4. 運行スケジュールについて

運行ダイヤ設定方針

- ① **JR予土線のJR江川崎駅発着時刻との接続を考慮したダイヤ設定とする。**
- ② **自動運転車両の運行時間帯を最大で7時～17時の間とする。**
※自動運転車両の1日当たりの走行可能距離(満充電での最大走行距離約40km、人員・勾配により変動)を踏まえると今回設定した時間帯での運行が限界であると判断
- ③ **JR江川崎駅～道の駅よって西土佐(自動走行区間)は、片道10分として設定**
※一般車両や歩行者との錯綜に伴う手動介入の時間も踏まえて安全側の時間設定
- ④ **よって西土佐～ホテル星羅四万十(手動走行区間)は、片道10分として設定**
- ⑤ **よって西土佐～ホテル星羅四万十間はニーズがあった際に走行**
※運行ニーズがない場合は道の駅付近(西土佐総合支所等)で待機

4. 運行スケジュールについて

- ・江川崎駅～道の駅よって西土佐間の運行を基本とする
- ・道の駅よって西土佐～ホテル星羅四万十はニーズがあれば運行(グレー部分が該当)
- ・その他は、道の駅付近(西土佐総合支所)やJR江川崎駅で待機



■ 各方面の便数・走行距離

分類	便数・走行距離
江川崎方向(片道)	8便(約8km)
道の駅方向(片道)	8便(約8km)
星羅方面(往復)	最大6便(約12km)
合計走行距離	約28km

	江川崎駅	←→	よって西土佐	←→	星羅四万十	備考	便番号(仮)
7時	7:10 ↓ 7:12 / 7:15 7:14 / 7:26 ↓ 7:30	←	7:00			江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第1便
8時		→	7:40			(一旦西土佐総合支所で待機)	道の駅方面: 第1便
9時	9:10	←	9:00	→	9:30	グレー部分はニーズがあれば走行	江川崎駅方面: 第2便 道の駅方面: 第2便 (星羅方面: 第1便)
10時	10:35 ↓ 10:41 / 10:43	←	10:25			江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第3便
11時	10:50 ↓ 12:00	→	11:00	→	11:10	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第3便 (星羅方面: 第2便)
12時	12:00 / 12:11 ↓ 12:15	←	11:45	←	11:35	江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第4便
13時	13:15 ↓ 13:23 / 13:27	→	12:25	→	12:35	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第4便 (星羅方面: 第3便)
14時	13:30 ↓ 13:30	←	13:00	←	12:50	江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第5便
15時	14:35 ↓ 14:24 / 14:46 14:43 / 14:46	→	13:40	→	13:50	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第5便 (星羅方面: 第4便)
16時	14:50 ↓ 15:20 ↓ 15:30	←	14:20	←	14:10	江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第6便
17時	江川崎始発 / 16:11 ↓ 16:20 ↓ 16:25	→	15:00	→	15:10	江川崎駅乗降との接続	道の駅方面: 第6便 江川崎駅方面: 第7便
		→	15:40	→	15:50	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第7便 (星羅方面: 第5便)
		←	16:10	←	16:00	江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第8便
		→	16:35	→	16:45	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第8便 (星羅方面: 第6便)
			17:05	←	16:55		

窪川方面 JR到着時刻 / 発車時刻
宇和島方面 JR到着時刻 / 発車時刻

↓
終了(車庫)

4. 運行スケジュールについて

○団体臨時列車の運行日(8月27日(土))は自動運転車両も特別ダイヤを設定

- ・江川崎駅～道の駅よって西土佐間の運行を基本とする
- ・道の駅よって西土佐～ホテル星羅四万十はニーズがあれば運行(グレー部分が該当)
- ・その他は、道の駅付近(西土佐総合支所)やJR江川崎駅で待機
- ・赤枠内が特別ダイヤの対象範囲(全9便)



■各方面の便数・走行距離

分類	便数・走行距離
江川崎方向(片道)	11便(約11km)
道の駅方向(片道)	11便(約11km) ※回送便含む
星羅方面(往復)	最大4便(約8km)
合計走行距離	約30km

(参考)
8月20日(土)の試乗会は赤枠内のみ運行

	江川崎駅	10分 換算	←	よって西土佐	10分 換算	→	星羅四万十	備考	便番号(仮)
7時	7:10		←	7:00				江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第1便
	7:12 / 7:15								
	7:14 / 7:26								
	7:30		→	7:40					道の駅方面: 第1便
8時								(一旦西土佐総合支所で待機)	
9時	9:10		←	9:00				グレー部分はニーズがあれば走行	江川崎駅方面: 第2便
			→	9:20		→	9:30		道の駅方面: 第2便
				9:50		←	9:40		(星羅方面: 第1便)
10時	10:35		←	10:25				江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第3便
	10:41 / 10:43								
11時	10:50		→	11:00		→	11:10	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第3便
			←	11:45		←	11:35		(星羅方面: 第2便)
	12:00		←	11:50				江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第4便
12時	12:00 / 12:11								
	12:15		→	12:25				※臨時列車到着に備え早急に江川崎駅入り	道の駅方面: 第4便
	12:45		←	12:35					江川崎駅方面: 第5便
13時	13:00/江川崎止							臨時列車到着(13時着想定)	
	13:10		→	13:20					道の駅方面: 第5便
	13:35		←	13:25				※窪川方面13:23着(臨時便対応で接続無し)	江川崎駅方面: 第6便
			→	13:45					道の駅方面: 第6便
14時	14:00		←	13:50					江川崎駅方面: 第7便
			→	14:10					道の駅方面: 第7便
	14:25		←	14:15				※宇和島方面14:24着(通常時、臨時便対応で接続無し)	江川崎駅方面: 第8便
			→	14:35					道の駅方面: 第8便
	14:50		←	14:40				※宇和島方面14:43着(トヨタ列車運転日、臨時便対応で接続無し)	江川崎駅方面: 第9便
				(※道の駅まで回送)					
15時	15:15		←	15:05				江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第10便
	15:21 / 江川崎止								
	15:30		→	15:40		→	15:50	臨時列車出発(15時半発想定)	道の駅方面: 第9便
								グレー部分はニーズがあれば走行	(星羅方面: 第3便)
16時	江川崎始発 / 16:11								
	16:20		←	16:10		←	16:00	江川崎駅乗降との接続	江川崎駅方面: 第11便
	16:25		→	16:35		→	16:45	グレー部分はニーズがあれば走行	道の駅方面: 第10便
				17:05		←	16:55		(星羅方面: 第4便)

窪川方面 JR到着時刻 / 発車時刻
 宇和島方面 JR到着時刻 / 発車時刻
 臨時列車 高知駅発(10時頃)、江川崎駅発(15時半頃)

(5)実証実験の検証内容について

5. 実証実験の検証内容について

西土佐地域における課題

○鉄道駅から周辺施設への移動手段の不足

- ・江川崎駅周辺には道の駅によって西土佐、川の駅カヌー館等の観光施設が立地しているものの、江川崎からのアクセス手段が限られている。

○鉄道利用におけるさらなる観光誘客促進

- ・予土線利用促進方策として、新たな移動サービスを提供することにより、周遊観光施設と連携して観光誘客を図る。

自動運転の技術的課題

○自動運転実装に向けた技術課題の検証

- ・自動運行補助施設(磁気マーカ)設置に関わる更なるコスト削減に向けた検証が必要。

実証実験の目的

○自動運転サービスを活用した地域課題解決の可能性の検証

- ・サステナブルな公共交通を構築することによる地域の活力維持の検討
- ・自動運転を活用したローカル線のあり方の検討
- ・鉄道利用者の行動範囲拡大などによる予土線利用促進の検討

○自動運転実装に向けた技術課題の検証

- ・自動運行補助施設(磁気マーカ)設置に関わる更なるコスト削減等の検証

道の駅「四万十とおわ」、ジップライン
中半家沈下橋、半家沈下橋 等



岩間沈下橋 等

5. 実証実験の検証内容について

・地域課題について、自動運転サービスの導入による課題解決の可能性の検証を行う。

目的	項目	具体的内容
自動運転サービスを活用した地域課題解決の可能性の検討	自動運転サービスを活用した鉄道駅からの行動範囲の拡大の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ○予土線の利用促進 ○観光客の流動性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・江川崎駅～道の駅及び星羅四万十等への移動手段が確保された場合の鉄道利用者の利用属性、利用可能性及びサービス満足度の把握 ○地域住民の予土線利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・江川崎駅～道の駅及び星羅四万十等への移動手段が確保された場合の地域住民の属性、利用可能性及びサービス満足度の把握
	自動運転サービスの受容性	<ul style="list-style-type: none"> ○自動運転サービスの受容性 ○自動運転サービスと連携した地域活性化 ○自動運転車両に対する満足度 ○自動運転サービスに対する歩行者と自転車、子どもの安全性の把握
	自動運転サービス実装に向けた経営課題の検証	<ul style="list-style-type: none"> ○自動運転サービスの導入コスト <ul style="list-style-type: none"> ・車両の導入・維持管理コスト、安全対策等のためのコスト、インフラ（磁気マーカ、RFIDタグ）整備・維持管理コストの把握 ○期待される収入 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支払い意思額（自動運転サービスの利用料金）
	自動運転サービス導入に必要な道路環境	<ul style="list-style-type: none"> ○一般車両と自動運転車両の混在走行区間での手動介入状況の確認 ○自動運転の高度化にむけた課題の整理
自動運転実装に向けた技術課題の検証	自動運転技術に関する検証※	<ul style="list-style-type: none"> ○磁気マーカを用いた自動運転技術の信頼性の確認 ○磁気マーカの効率的な配置

※車両メーカーによる検証

5. 実証実験の検証内容について

・下記事項について、利用者アンケート調査、関係機関ヒアリング等を実施し、自動運転車両の導入による効果を検証する。

アンケート調査

○手法

- ・沿線の住民の方を対象とした事前・事後のアンケート調査
- ・利用者の方を対象とした乗車後のアンケート調査



ヒアリング調査

○手法

- 関係主体等へ意見聴取(事後に実施)
 - ・地域の協力者(地域公共交通活性化協議会、自治会等)
 - ・交通事業者(JR四国、西土佐交通等)
 - ・周辺観光施設(よって西土佐、星羅四万十等)
 - ・四万十市(関係部局) など



取得データ分析

○手法

- ・ドライブレコーダーの画像や手動介入記録について分析

(6)モニター募集方針について

6. モニター募集方針について

○本実証実験における乗車モニターの募集(広報)、予約、受付の方針は、以下のとおりとする。

基本方針

※本実証実験でターゲットとする乗車対象者

- 乗車対象者(主なターゲット)として、『観光客』、『住民』とする。
- 『観光客』は、**JR江川崎駅の利用者をメインターゲット**とし、合わせて道の駅の来訪者を主な乗車対象として位置づける。
- 『住民』とは、西土佐地域(沿線地区)に居住する住民を主な乗車対象として位置づける。
※住民の年齢層は偏りがないように地元区長様などと調整しながら乗車対象を選定
- その他、企画会議の関係機関等に所属する方とする。

広報方針

- モニター募集を行う広報媒体は、チラシ、ポスター、HPを想定
- HPについては、四万十市役所、JR四国、国土交通省(中村河川国道)等による広報を想定
- チラシ、ポスターは、西土佐地域の観光施設(道の駅、JR江川崎駅、星羅四万十、カヌー館等)や、四万十市の行政機関及び観光施設、JR四国の主要駅(例:高知駅、窪川駅、松山駅、宇和島駅等)や土佐くろしお鉄道(中村駅)を想定して設置

6. モニター募集方針(広報方針)について

広報方針

※ターゲットとする乗車対象者と広報との対応

- ・今回の実証実験での**主な利用パターン**として期待される**鉄道駅から観光施設への乗り継ぎ利用**をより多くの方に体験していただくために、JR四国の協力を得て駅施設での現地広報(チラシやポスター)とWEBサイト(予約と連動した専用サイトを設置予定)を組み合わせ広報を実施
- ・住民以外は、WEBサイトを通じた予約を行う形とする

種類	対象者の定義及び広報方法	備考
観光客 (JR利用者)	<ul style="list-style-type: none"> ・JR江川崎駅を利用する観光客(鉄道との乗り継ぎ利用)を想定 ・JRの主要駅等での広報を実施、その他各種HPでの広報を実施し募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトによる予約 ・JRでの広報については、JR四国に広報可能箇所を調整いただき対応(広報設置条件等も提示いただく)
住民	<ul style="list-style-type: none"> ・西土佐地域の沿線地区住民を対象 ・回覧板を通じてチラシ配布 ・区長を通じた周知、モニター募集依頼を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の予約は西土佐総合支所を通じて受付想定
観光客 (道の駅等 来訪者)	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅よって西土佐を利用する観光客(その他、ホテル等の周辺施設の利用も含む) ・道の駅や周辺施設のチラシ、ポスターを設置し募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイトによる予約 ・沿線地区住民以外の市民、四十万十市民以外の乗車希望者はこの枠組みとして整理

6. モニター募集方針(広報方針)について

観光客による事前予約

- ・各種広報媒体に予約可能なWEBサイトのURLやQRコードを掲載し、観光客はWEBサイトにアクセスして予約を実施する

項目	内容
予約窓口	WEBサイトによる予約(7月中旬公開予定)
予約方法	・基本的にはWEBサイトによる登録 ※WEBによる予約ができない方の窓口として、自動運転実証実験受付サポートセンター(委託業者)が電話・メールで受付。 ⇒観光客の予約内容はWEBサイトに集約
受付時間	WEBサイトは終日 自動運転実証実験受付サポートセンター(電話: 平日9:00~17:00/メールは終日)
予約期間	7月中旬~8月中旬
その他	・乗車前日のWEBサイトによる予約は夕方(17時)時点で締め切る (翌日の運行リストの作成のため) ⇒それ以降は当日予約扱いとする

6. モニター募集方針(広報方針)について

住民（西土佐地域）の事前割当方法

- ①募集方針: 運行日時を指定(あるいは希望を聞いて)して、沿線各地区から乗車モニター希望者を募る。または依頼する。
- ②募集方法: 区長等へ依頼する
- ③募集期間: 7月中旬～8月中旬
- ④募集窓口: 四万十市役所西土佐総合支所



【地元枠と観光客枠との棲み分けについて】

・地元枠と観光客枠の棲み分けについては、以下の方針とする。

- ①観光客の予約を優先的に実施(予約方法については後述)
- ②地元枠はあらかじめ希望者等を沿線区長様などを通じて募集しておく
- ③観光客の予約状況を踏まえながら、空き枠に希望する地元住民の乗車枠を割当

6. モニター募集方針(受付方針)について

受付方針

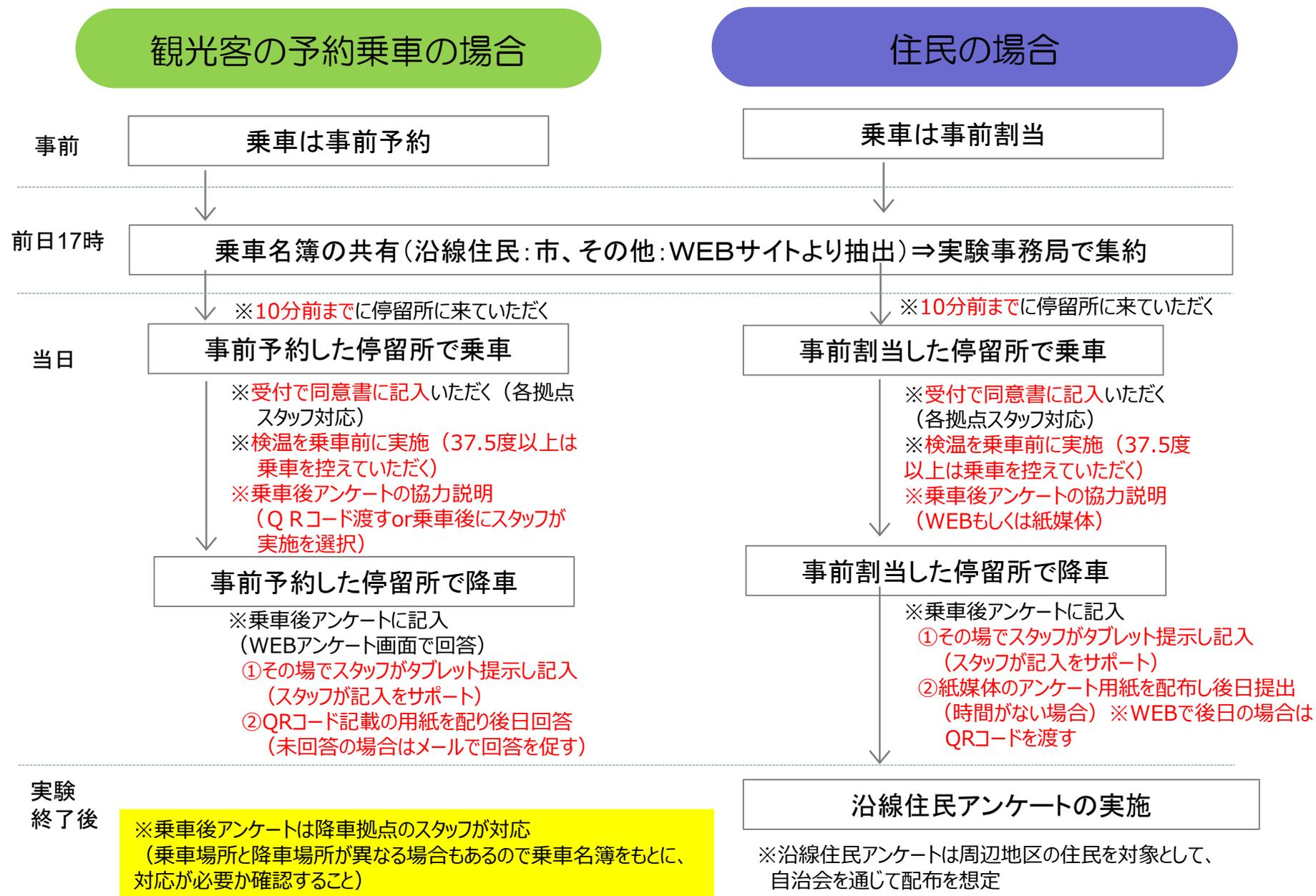
○モニターの乗車受付場所は、JR江川崎駅、道の駅よって西土佐、ホテル星羅四万十の3箇所とする。

場 所	対応者	対応方法
JR江川崎駅	実験事務局スタッフ (※江川崎駅スタッフと適宜連携)	<ul style="list-style-type: none">・予約者が発着場所に来た際に手続き(誓約書の署名等)を記入手続き・その他、当日希望の場合の手続き・基本的には実験事務局スタッフが対応するが、予約状況は適宜、改札にいる駅スタッフとも共有する(鉄道との乗り継ぎ利用の情報共有等)
道の駅よって西土佐 (発着場所)	実験事務局スタッフ (※道の駅スタッフと適宜連携)	<ul style="list-style-type: none">・予約者が発着場所に来た際に手続き(誓約書の署名等)を記入手続き・その他、当日希望の場合の手続き
ホテル星羅四万十	ホテル星羅四万十スタッフ	<ul style="list-style-type: none">・予約者がホテルロビーに来て手続き・実験事務局スタッフに連絡・共有

※その他、上記に当てはまらない箇所での利用予約があった場合(例:カヌー館から乗車したい)は、道の駅の実験事務局スタッフで情報を集約し対応

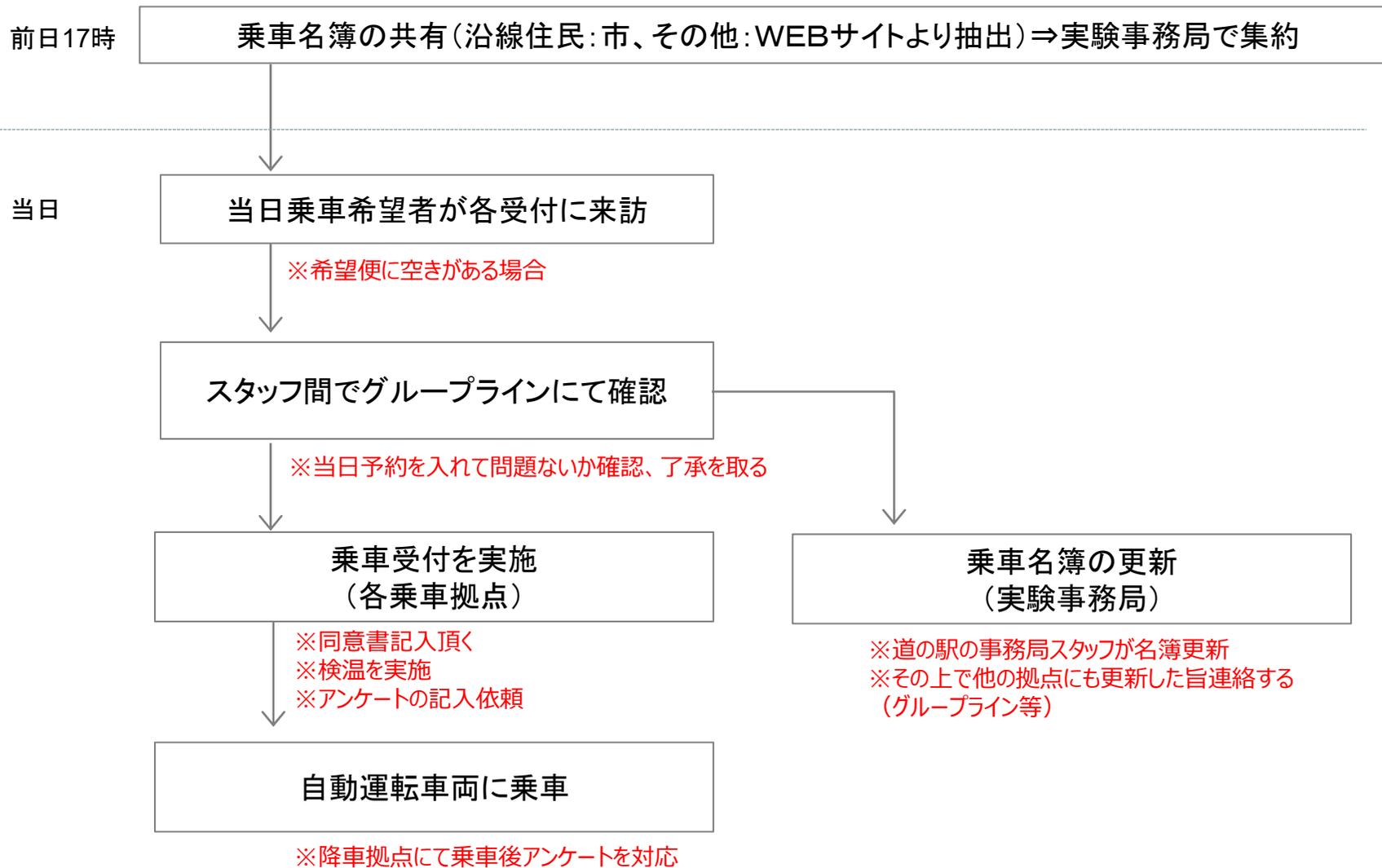
※期間中は、関係者でグループラインを作成して情報共有を行う

6. モニター募集方針(当日のモニター受付～乗降～アンケート対応の流れ)について



6. モニター募集方針(当日予約受付の流れ)について

当日受付をする場合



6. モニター募集方針(当日予約受付の流れ)について

(同意書案) ※乗車前に確認いただき署名

西土佐地域自動運転モビリティ実証実験 実証実験参加に係る同意書

目的：

四万十市西土佐地域における鉄道駅からの移動手段の不足、観光誘客促進といった地域課題、自動運転実装に向けた技術的課題を踏まえ、自動運転技術の導入による課題解決に向けた検証を行います。その中で、希望する観光客等に自動運転車両に乗車いただき、アンケート等を通じて自動運転に関するニーズ・課題を調査します。(以下、「本実証実験」という。)

本実証実験の内容：

- ・ 本実証実験の実施主体は西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議が務め、実験に用いる車両はヤマハ発動機株式会社が提供しております。
- ・ 西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議は、自動運転車両へ乗車いただいた参加者を対象に、アンケート調査や聞き取り調査を実施します。

本実証実験の実施期間：

- ・ 令和4年8月20日(土) ～ 令和4年8月28日(日)
- ※実験期間は変更になる場合があります。

《遵守事項》

- ・ 参加者は、事前に予約を行った上で、本実証実験の自動運転車両に乗車することができます。
- ・ 参加者は自動運転車両の乗車後に、アンケート調査にご協力いただきます。
- ・ 自動運転車両への乗車時は、安全確保のためスタッフの指示に従ってください。指示に従っていただけない場合は、乗車をお断りすることがございます。
- ・ 実験中は各種メディアの取材や撮影が行われます。映像・写真等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権と肖像権は西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議に属します。
- ・ 参加者が以下に該当する場合、自動運転車両の乗車をお断りさせていただきます。
 - 麻薬、覚せい剤、シンナー等による中毒症状等を呈していると認められるとき。
 - 6歳未満の幼児を単独で乗車させるとき。
 - 医師等の診断によりバス等に乗車することについて注意を受けている場合。
 - 暴力団、暴力団関係団体の構成員もしくは関係者又はその他の反社会的組織に属している者であると認められるとき。
 - その他、参加者の状況から、事務局が安全な運行に支障があると判断したとき。
- ・ 自動運転車両乗車時には、マスクを着用していただくなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策へのご協力をお願いするとともに、乗車前に検温の実施と体調の確認をさせていただきます。そのうえで、発熱等を確認し体調が優れない方は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、乗車をお断りさせていただくことがあることをご理解くだ

1

さい。

《免責事項》

- ・ 本実証実験は、事前の告知や同意なく中止や期間の短縮をすることがあります。
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、乗務員等の事務局関係者に発熱等を確認し体調が優れないものが見られた場合には、運行を中断することもありますのでご理解ください。
 - ・ 車両の状況、運行時間の遅延、道路交通状況等により、必ずしも希望した時間で自動運転車両に乗車・降車できない場合があります。
 - ・ 本実証実験への参加に当たっての往路・帰路等移動中の事故に対しては責任を負いかねます。会場への道中は事故等の無いようお気をつけください。
 - ・ 予約された便・時刻にもとづき、当日遅れないように現地にお越しください。万が一、現地の到着が遅れる場合は、事務局への連絡をお願いいたします。
- 【自動運転実証実験受付サポートセンター（業務委託先：日本工営株式会社）】
(事務局連絡先メールアドレス)：nishitosa-yodosen-yoyaku@n-koei.co.jp
(電話番号) 06-7177-0213 (受付時間：平日9時～17時)
- ・ 予約をキャンセルする場合は、予約サイトから手続きをしていただくか、上記連絡先までご連絡をお願いいたします。

本書に記載の遵守事項、免責事項を忘れた場合の事故等による保証は自己負担となります。

私は本実証実験における参加者として上記の遵守事項及び免責事項に同意いたします。

令和4年 月 日

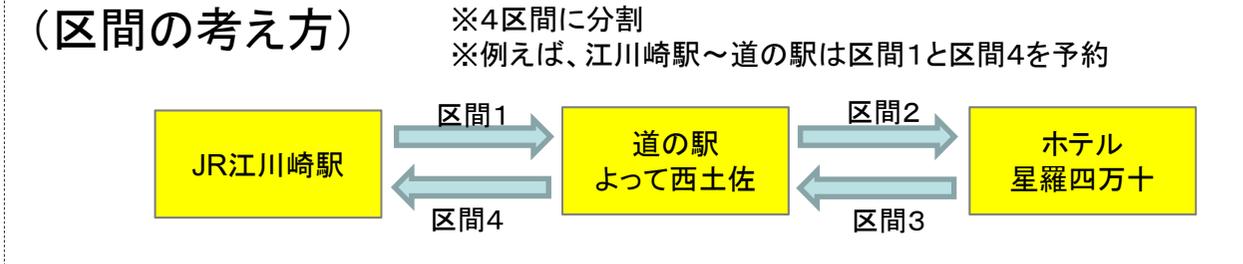
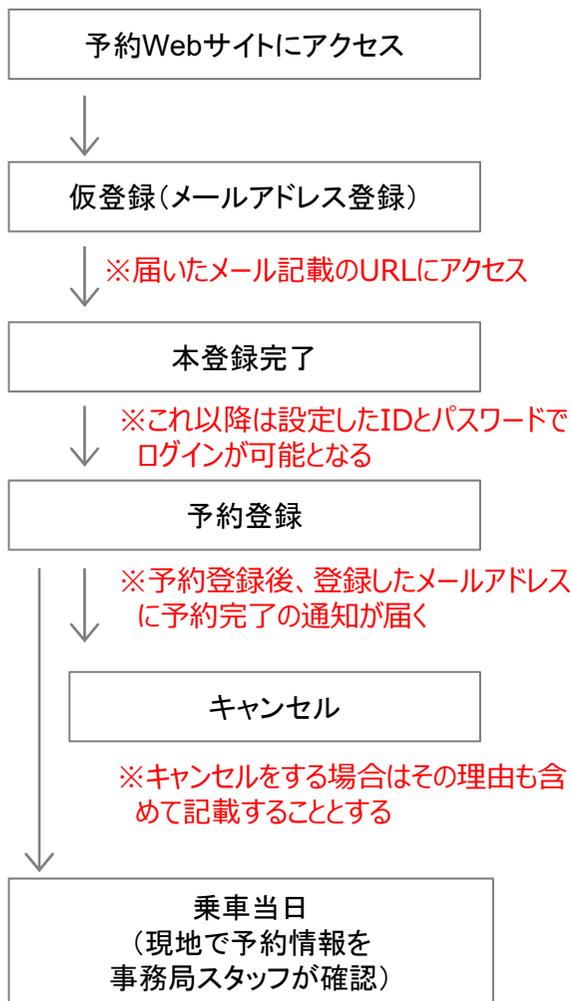
●ご署名

2

6. モニター募集方針(予約受付の流れ)について

(予約Webサイトについて)

- 予約Webサイトは、一般の観光客自身が登録可能とする。PCやスマートフォンなどで予約可能
- メールアドレスや連絡先を初期登録し、その後乗車予約が可能
- 過度な予約を防ぐため、1つのユーザIDで予約可能な便は1区間1便までとする



予約Webサイトのイメージ

The screenshots show the user interface for making a reservation. Callouts highlight key features:

- 日付、区間、人数を選択 (Select date, route, and number of people)
- 便の選択 (JR接続便は色分けして記載) (Select train; JR connecting trains are color-coded)
- 既予約状況の確認が可能 (Check existing reservation status)
- 復路も合わせて予約が可能 (Round-trip reservations are also possible)

(7) 広報計画について

7. 広報計画について

観光客向けチラシ構成(案)

オモテ

ウラ

自動運転車両に乗ってみませんか ～ JR 予土線と連携した西土佐地域自動運転モビリティ実証実験～

実証実験期間 令和4年8月21日(日)～8月28日(日)

8月20日(土)は団体臨時列車のツアー客を対象とした試乗会を開催
自動運転サービスを活用したローカル線のあり方や鉄道利用者の行動範囲拡大などによる予土線の利用促進等を目的として、JR 江川崎駅～道の駅よつて西土佐～ホテル星羅四万十間で自動運転サービスの実証実験を実施します。ぜひご利用ください。

運行ルート

運行ルート
 JR 江川崎駅 → 道の駅「よつて西土佐」 → 四万十市西土佐総合支所 → 四万十市西土佐商工会 → 四万十市西土佐小学校 → 市立西土佐中学校 → カヌー館 → 四万十川 → ホテル星羅四万十 → 四万十川 → JR 江川崎駅

凡例
 ● 停留所
 ○ フリー乗降 ※ご乗望あれば乗降可能です

予約方法 自動運転車両への乗車は予約制です。裏面のダイヤをご覧ください。予約の上ご利用ください。左の二次元バーコード、もしくは下記URLにアクセスして予約できます。
<https://nishitosa-yodosen-autonomous-car.jp>

注意事項 ◆乗車定員は4名です。◆乗車対象は小学生以上となります。◆天候等により実験が中止となる場合がございます。◆新型コロナウイルス対策として、マスクの着用・検温・消毒にご協力ください。

自動運転車両の紹介

自動運転車両は埋設された磁気マーカーとRFIDタグを読み取ることで自動でハンドルの操作、加減速、停止、方向指示器の制御等を行います。走行中は緊急時に備えてドライバーが運転席に乗り、手動運転への切り替えもできるようにしています。

運行方法

【お問い合わせ先】自動運転実証実験受付サポートセンター
 TEL:06-7177-0213 (受付時間:平日9時～17時) 業務委託先: 日本工営株式会社
 時間外はこちらへ: メール (24H 受付) nishitosa-yodosen-yoyaku@n-koel.co.jp

◆道の駅よつて西土佐とJR 江川崎駅間の運行を基本とし、予約があった場合にのみホテル星羅四万十までの往復を運行いたします。

◆運行時間帯は7時～17時です。詳細な運行時刻は予約サイトにてご確認ください。各区間の所要時間はおよそ10分です。
 (予約サイト: <https://nishitosa-yodosen-autonomous-car.jp>)

◆JR 江川崎駅の発着時刻は鉄道との接続を考慮しておりますので、鉄道と合わせてご利用ください。

◆下段に記載のJR 四国によるイベント開催日については特別ダイヤによる運行となります。詳細は予約サイトをご確認ください。

運行ダイヤ

JR 江川崎駅	道の駅よつて西土佐	予約があった場合のみ運行
【道の駅方面の出発時刻】	【JR 江川崎駅方面の出発時刻】	ホテル星羅四万十
7:30 13:30	7:00 13:05	四万十市西土佐商工会
9:10 14:50	9:00 14:25	四万十川のカヌー館
10:50 15:30	10:25 15:10	
12:15 16:25	11:50 16:10	

※発着時刻は鉄道との接続を考慮しています。鉄道の発着時刻はJR 四国などのホームページでご確認ください。

龍馬パスポートにスタンプ押せます

◆スタンプ押印場所: JR 江川崎駅

◆押印対象日: 8月20日、27日 ※押印は1人1回のみです

◆押印条件: 8月20日、27日のいずれかにJR 江川崎駅に本店する店舗で500円以上の買物をした方
 ※自動運転車両に乗車しなくても押印できます

◆押印特典: 道の駅よつて西土佐の金券(割引券)1,000円
 ※道の駅での1,000円以上の買物が使用条件です
 ※8月20日、27日の両日のみ有効です

JR 四国開催のイベント情報

【JR 四国のイベントに関するお問い合わせ先】
 四国旅客鉄道株式会社、7-7 高知支店
 TEL:088-822-8130

実証実験の実施に合わせて、休日にレールバイク体験や団体臨時列車の運行を実施!

①レールバイク体験乗車
 期間: 8/20(土)13:00～16:00
 8/27(土)10:00～16:00
 概要: お客様ご自身で軌道自転車(最大4名乗車可能)を運転し、駅前物販にて500円以上ご購入された方に乗車券をお渡しします
 場所: 江川崎駅構内

②特急車両を活用したツアーの設定
 期間: 8/20(土)、8/27(土)
 概要: 2000系2両を使用し、高知駅から江川崎駅往復
 ※予土線への2000系乗り入れは2018年2月以来

(8)安全対策について

8. 安全対策について

・安全対策として、「路面標示、注意喚起看板、チラシ配布、自動運転車両の対向車接近表示板」により沿線の住民の方々、一般車両への注意喚起を実施する。

項目	方針
安全対策	<ul style="list-style-type: none">○看板、路面標示による注意喚起○走行ルートが幅員が狭い箇所に対向車接近表示板を設置して安全通行を喚起○安全に留意した速度での走行(交差点への進入時の一時停止 等)○チラシ等の広報による沿線住民、市民等への走行ルートの周知
実験車両運行に伴う事故等リスク分担(責任所在)	<ul style="list-style-type: none">○自動車保険(任意保険加入)による事故発生時のリスク対応○助手席に事務局の保安員を常時着席させることによるフォローの実施○車両メーカーの技術者による自動運転車両の運転○実験中は日々開始前に車両点検を実施し安全を確保

8. 安全対策について

・沿線の住民の方々、一般車両への注意喚起として、自動運転走行ルート内に路面標示を設置する。



路面標示
設置イメージ1(西土佐地域エネオス付近での設置イメージ)



路面標示
設置イメージ2(中村地域での設置事例)



路面標示
レイアウト

8. 安全対策について

・沿線の住民の方々、一般車両への注意喚起として、自動運転走行ルート内に注意喚起看板を設置する。



注意喚起看板

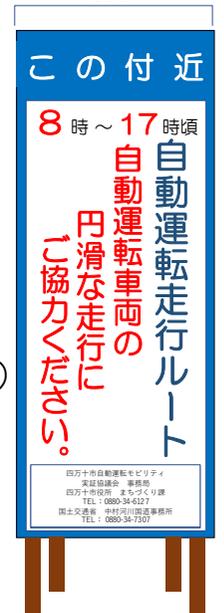
設置イメージ1(西土佐地域道の駅「よって西土佐」付近での設置イメージ)



注意喚起看板

設置イメージ2(中村地域での設置事例)

(ア) 区間手前の場合
550



(イ) 区間始点の場合
550



(ウ) 区間中の場合
550



注意喚起看板
レイアウト

8. 安全対策について

自動運転走行ルートのうち、すれ違いの難しい、狭小区間については、車両側のセンサーと連動した対向車接近表示板を設置する。



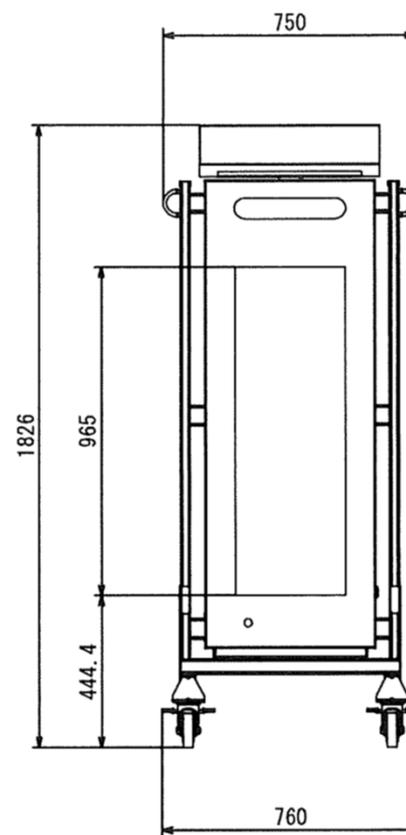
対向車接近表示板

設置イメージ1 (西土佐地域JR江川崎駅付近での設置イメージ)

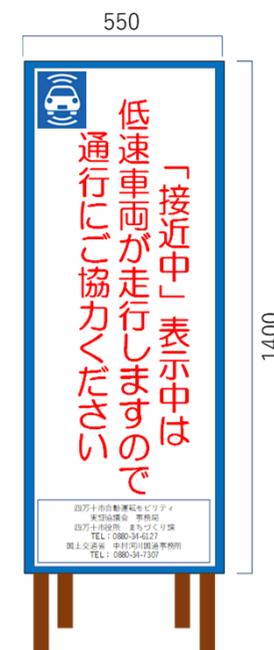


対向車接近表示板

設置イメージ2 (中村地域での設置事例)



対向車接近表示板
サイズ



対向車接近表示板
案内看板

(9)その他の関連イベントについて

9. その他の関連イベントについて

JR四国による関連イベント

(1) レールバイク体験乗車

【期 間】： 8月20日(土)、8月27日(土)の2日間

【場 所】： 江川崎駅旧側線2番(150M程度)

【実施方法】： お客様ご自身で軌道自転車を運転(最大4名乗車可能)

JR江川崎駅に出店する店舗で500円以上購入された方に乗車券を配布



軌道自転車



旧側線2番(宇和島方より)



旧側線2番(窪川方より)



9. その他の関連イベントについて

JR四国による**関連イベント**

(2) 特急車両を活用したツアーの設定

【期 間】： 8月20日(土)、8月27日(土)の2日間

【概 要】： 2000系2両を使用し、高知駅から江川崎駅往復

【実施方法】： レールバイク体験乗車や江川崎駅周辺観光施設を見学予定
予土線への2000系乗り入れは2018年2月以来



2000系車両

9. その他の関連イベントについて

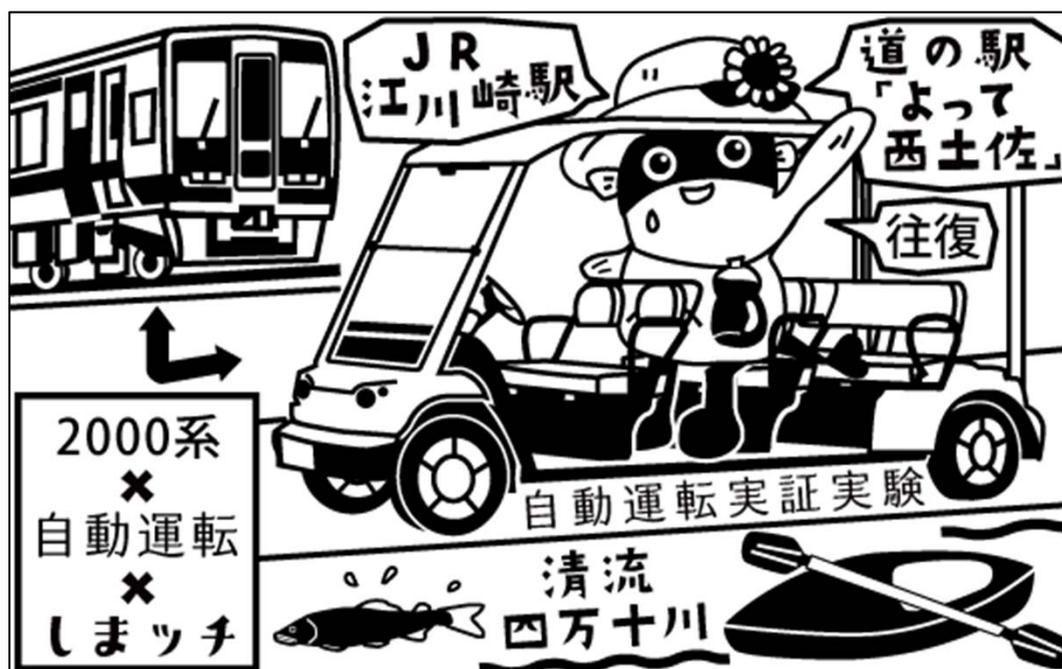
四万十市による関連イベント

(1) 龍馬パスポートとの連携

【期 間】： 8月20日(土)、8月27日(土)の2日間

【概 要】： 期間限定コラボスタンプを作成

【実施方法】： JR江川崎駅に出店する店舗で500円以上買い物した方に押印
押印後、道の駅「よって西土佐」で使用できる1,000円分の金券(割引券)を配布



期間限定コラボスタンプ

9. その他の関連イベントについて

JR四国と四万十市による**関連イベント**

(1) JR江川崎駅に特別店舗を出店

【期 間】： 8月20日(土)、8月27日(土)の2日間

【概 要】： JR四国による「物販店舗」、四万十市による「山間屋店舗」の出店

「物販店舗」



「山間屋店舗」



9. その他の関連イベントについて

その他

- 自動運転車両にご当地キャラクターのペインティングを実施



(10)今後のスケジュールについて

10. 今後のスケジュール

- 関係機関との調整、実験環境の整備を行い実証実験に向け準備を進める。
- 令和4年8月21日から令和4年8月28日に実証実験を行う。

時期	実験実施に向けたスケジュール
2022年 2月	第1回企画会議(2/15) (実験計画案、運行ルート案)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関調整(警察、道路管理者) ・実験環境の整備(現地工事等)
4月~6月	
7月	第2回企画会議(本日) (実験計画決定、運行方法、規制内容等) ・実験準備、現地調整、実験広報等
8月	実証実験(8/21~8/28)
9月~12月	・実験結果検証
2023年 1月~3月	第3回企画会議(実証検証結果の議論、実装に向けた課題等)